

はじめに

現在、我が国では、生産年齢人口の減少や産業構造の変化、グローバル化の進展など変化の激しい時代を迎えています。このような中、平成26年12月、中央教育審議会は、高等学校教育、大学教育及びそれらを接続する大学入学者選抜における三位一体の抜本的な改革を提言する答申を出しました。

埼玉県教育委員会においても、県立高校の教育内容の一層の充実や各学校の活性化・特色化を目指して、市町村教育委員会などと連携、協力し、魅力ある県立高校づくりに努めているところです。

中学校においては、県立高校の活性化・特色化方針などについて積極的に情報を収集するとともに、生徒一人一人の適性や将来の希望等を十分に把握した上で、進路指導・キャリア教育を充実させることが大切です。

本県では、平成4年の「業者テストの偏差値に頼った進路指導を改善する方針」以降、生徒一人一人の能力・適性・関心や将来の希望等を踏まえた3年間を見通した「生き方指導としての進路指導」が定着しました。しかし、一方では、生徒・保護者に対する進路選択に向けた具体的なアドバイスが十分でないという指摘もあります。

これらの背景を受け、第2期埼玉県教育振興基本計画において、「児童生徒一人一人を確実に伸ばす教育」を掲げ、生徒一人一人が中学校で身に付けた学力や自分のよさを進学や就職後もさらに伸ばし、「自分を活かす」進路選択ができるよう進路指導の一層の充実が求められているところです。

そこで、平成26年10月以降、関係者に御協力をお願いし、生徒や保護者から信頼される中学校の進路指導の在り方について検討いただき、平成27年3月に「埼玉県進路指導改善検討委員会報告書」を受けたところです。

この報告書を踏まえ、平成27年8月以降、中学校長、教諭等を委員とした「進路指導検討委員会」を立ち上げ、平成19年度に県が作成した資料を見直して、進路指導・キャリア教育の一層の改善・充実を図るため本資料を改訂いたしました。

ぜひ、各中学校において、今後、生徒や保護者から一層信頼される進路指導・キャリア教育を進める上での参考資料として御活用いただきますようお願いいたします。

本資料の改訂に当たって、ご多用の中、執筆していただいた委員の先生方に心から感謝申し上げます。

平成28年3月

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課長
山田 晋治